



ごあいさつ

PTA 会長  
茂木 京子

本年度、PTA会長を務めさせて頂きます茂木京子と申します。会員の皆さまには、日頃よりPTA活動への温かいご理解とご支援をいただき、感謝しております。力不足ではありますが、親子共に聾学校を選んでいただいた皆様、「聾学校で良かった」と、先生方が「聾学校で働けて良かった」と、心から思っていただけよう、一年間、皆様に助けて頂きながら精一杯務めさせて頂きます。

さて、コロナ禍の中を乗り越えつつある私たちは、新たな時代を創り始めようというときに来ているようです。今年度、そしてこれからをどうするか、失われたものは何か、気付かされたことは何か、今後のPTA体制や活動について、皆様と膝を交え議論を重ねて行ければと考えております。行事については「その年その年で、やりたいことをやる範囲で、笑顔で活動できる」ことが大事だと思っています。皆さまはどうでしょうか？どうか積極的に行事に参加しご意見ください。参加することが難しい場合は、お近くの役員や本部役員にご意見をいただければありがたいです。

P (Parent (保護者)) と T (Teacher (先生方)) が A (Association (協会・組織)) をもって、子どもたちのためにできることを考え実行するのがPTA活動とのこと。身近な大人たちが、手を取り合う姿は子どもたちのモデルとなり、少しずつ心に積み重なっていくことと思います。保護者の皆さま、先生方には、今後ともPTA活動へのご理解とご支援をいただきたく、よろしくお願いいたします。

体言葉心

校長  
近藤 照久

一学期が瞬く間に過ぎていきました。子供たちの様子をできる限り聾学校日記で紹介しようという間に過ぎていきます。八十名がアツという間に過ぎていきます。八十名が学ぶ本校では、活動や遊びに熱中する幼児、気付いたことを率直に発言し合う児童、タブレットPCを駆使して調べ学習に取り組み生徒、遅くまで部活動に励む生徒がいます。そして、放課後も寄宿舎では年齢差に関係なく、生活を共にする仲間として、仲睦まじく関わり合う姿が見られます。

学校案内にある「体を育てます 言葉を育てます」という言葉を本校のグラウンドデザインに据えました。キャッチフレーズをもつということは学校経営にとっても大切です。普通は心と体を育てますとなりそうなることを、体、言葉、心の順にしているとこの学校に、この学校の特色があるように感じました。私は、「いい言葉が、いい人生をつくる」という言葉が好きで、できるだけ心がけています。前任校の時から校長室にこの言葉を掲げています。学校案内をいただいたとき「体、言葉、心」の並びに、少し違和感がありました。着任から四ヶ月が過ぎ、ようやくこの並びがしっくりしてきました。まずは、健康な体を維持する生活習慣があつて、学校生活を通して言葉を育む。生活言語が身につくこと、学習言語を増やし、社会生活を営む心やコミュニケーション力が育つと考えるようになってきました。

健康な生活を維持すること自体大変です。毎日遠方から送迎される保護者の皆さま、電車等で自主通学する児童生徒には負担があることを感じています。登校してくる前に、一過程あることでしょうか。県内で唯一の学校であることは、通学に時間がかかっても、毎日通いたいと思える魅力ある場所であればと考えています。これからさらに学校の魅力づくりを図っていきます。様々な形での交流や共同学習の機会をもって行きたいし、卒業生の方々にも力を借りたいと考えています。そして、本校に通う児童生徒の良さを同世代や社会に発信して行かねばと考えています。

寄宿舎をもつ学校に勤務したのがはじめてなので、様子を見に行かせてもらっています。すると実に丁寧に子供たちの気持ちに寄り添った指導・支援をされています。社会性を身に付ける上で寄宿舎の役割は、とても大きい。寄宿舎指導員と舎監にあたる職員の協力、担任との連携があつて児童生徒が安心して生活を送ることができています。健康な体があつての学校生活です。自治活動が生徒の企画・運営力を高めていると思います。

これから夏休みに入ります。私は小学校の教員でしたので、毎年児童に自由研究の宿題を出しました。そして、自分も一つ課題を設定して、自己研修を続けてきました。長い夏休みを有効に過ごす手だてです。部活動に励むもよし、たくさん本を読むのもよし、各種検定に向けてコツコツ学習を重ねるのもよしです。私は目前にせまったデフリンピックを契機に聴覚障害に対する理解や手話の普及啓発を図る手だてを考えてみたいと思います。



令和七年度 本部役員・各部長の挨拶

会長 茂木 京子

副会長 渡部麻里子

書記 新井 史彩

会計 齋藤あつ子

監査 中嶋 啓代

今年度はこのメンバーで務めさせていただきます。  
皆さんと協力して頑張りたいと思います。  
一年間よろしくお願いたします。

今年度の主な行事予定

★令和7年

- 4月18日 第1回役員会・理事会
- 5月2日 PTA 定期総会
- 5月13日 県特P協総会
- 6月12日 第1回学校評議員会
- 13日 マナーアップ運動
- 中旬 関聾P 総会（書面開催）
- 20日 学校見学会  
（群馬医療福祉大学）
- 25日 第1回学校保健委員会
- 下旬 全ろうP総会(オンライン)
- 7月18日 PTA 新聞 42号発行
- 25日 県特P協大会（前橋）
- 9月19日 第2回役員会・理事会
- 10月2日 除草作業・茶話会
- 10日11日 群聾祭
- 31日 手話教室
- 12月11日 PTA 講演会

厚生部

部長 定方 心

文化部

部長 荒井祐里

体育部

部長 星野りつ子

今年度厚生部部長をさせていただきます。  
厚生部では、ベルマークの集計を行う予定です。  
一年間よろしくお願いたします。

今年度文化部部長をさせていただきます。  
文化部では、二回の新聞発行と手話教室を実施する予定です。  
一年間よろしくお願いたします。

今年度体育部部長をさせていただきます。  
体育部では、除草作業、茶話会を行う予定です。  
一年間よろしくお願いたします。



★令和8年

- 1月11日 はたちを祝う会協力
- 2月10日 第3回学校評議員会
- 17日 第2回学校保健委員会
- 第3回役員会・理事会
- 3月 2日 高等部卒業式
- PTA 新聞 43号発行
- 12日 中学部卒業式
- 18日 小学部卒業式
- 幼稚部修了証書授与式

# PTA 学校見学会

## 群馬医療福祉大学見学会

六月二十日(金)、群馬医療福祉大学見学会を実施し、保護者十八名が参加しました。学校の概要や、受験の際の配慮についての説明を聴いたり、在学している聴覚障害の学生さんから発表形式で学校生活について聴いたりすることができました。



学校が力を入れていることが伝わりました



### 見学の様子



学生へのサポートの様子を見学

### 参加者の感想

- ◎ 受験の方法から在校生の声まで聞くことが出来、とても参考になりました。
- ◎ 在校生のお話が聞けて良かったです。受験する前に学校側に配慮申請を提出して準備することが大事だと思います。
- ◎ 情報保障のノートテイクや授業中の口シヤーマイク使用、発言を反復してもらうなどの事、また自分の事を先生や友達に話し理解してもらったことがとても大事だと思いました。
- ◎ 卒業生の齋藤さんがアルバイトや学校生活をとても頑張っていることが分かりました。
- ◎ 卒業生の方が、大学入試や学生生活を送る中で、自分の苦手なことをすすんで乗り越えている姿が素敵で、涙を我慢するのが大変でした。
- ◎ 先輩の話を通して想像でき動きやすいです。貴重な機会をありがとうございました。
- ◎ 他の学校等の配慮が知りたい。



卒業生のお話を聴きました

### 身近な手話を紹介しています



群馬県障害政策課が制作する身近な手話を紹介する動画に本校高等部生徒が協力しています。群馬県聴覚障害者連盟の「指導をいただきました」。

毎月第三日曜日のYouTubeショート動画でTikTokで配信されます。

令和7年度配信では、群馬県立中央中等教育学校の生徒とコラボし、「SHUWANOWA 学園高等部」としてショート動画で聴覚障害への理解を広めることに挑戦しました。是非ご覧ください。

### 手話教室を実施します

今年度も十月三十一日に実施致します。皆様の参加をお待ちしております。

### 聴障連よりのベルマークの御寄付をいただきました

昨年度、聴障連様よりたくさんベルマークをいただきました。感謝申し上げます。

厚生部では、皆様からのベルマークを教育活動に活かす活動を行っています。引き続き、ご協力をお願いいたします。

### 編集後記

今年度も文化部でPTA新聞を発行します。

PTA新聞四十二号「よつば」もたくさんの方々の協力で、無事に発行することができました。ご協力いただいた方々、本当にお世話になりました。

次号もよろしくお願いたします。

